

2013 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	理工学部	身分	教授
氏名	谷下 雅義		
NAME	Masayoshi Tanishita		

1. 研究課題

(和文) 宮城県南三陸町の地域資源の発見・再評価と新しいツーリズムの提案

(英文) Revaluation of area resources and proposal of new tourism in Minamisanriku-town, Miyagi Pref.

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要(背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文)

南三陸町は津波で多くの人の営みが失われた。第1次産業を基盤とし、震災前から人口減少・高齢化が進展する課題先進地域であったが、再生のためには、残された地域資源を生かし、ツーリズムも取り入れた6次産業化をすすめることが求められる。本研究は、隠れた地域資源を「よそ者」の視点で発見・再評価すること、そして震災前には取り組まれていなかった新しいツーリズムを提案することを目的として行った。FLPのゼミ学生とともに現地を繰り返し訪問し、地元の方々と一緒に集落を歩き、さまざまな体験をさせていただきながら活動を行った。

そこで明らかとなったことは以下の点である。決して津波ですべてを失ったわけではない。海と山が近距離に位置し、町に降ったすべての雨が町内の海に流れる。川が山からの栄養分を海に送り届けて豊かな漁場を形成し、人々の生活を潤し、森里川海の連環が形成されている数少ないまちであり、エコツーリズムの適地であること。また「また会いたい」と思う魅力的な町民の方が多く存在し、逸話のある隠れた名所もあること。これを踏まえ、私たちは、ホテル観洋を拠点として「やすらぎの森」を歩く、また校舎の宿「さんさん館」を拠点として山の神平集落を歩くツアーを提案し、地元の方々とモニターツアーを行った。今後は地元が主体となって進展していくことを期待している。

(英文)

In this research, I reevaluate of area resources in Minamisanriku town which was damaged by Great East Japan Earthquake. This town is suitable for the eco-tourism because a shackle in Satoyama, Satokawa and Satoumi is formed and many talented people are lived. "Yasuragi no mori" and "Yamanokamidaira" tour are proposed based on joint activities with local persons and our students.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

【学術論文】 （著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）
【学会発表】 （発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）
谷下雅義・高峰「南三陸ツーリズム」第48回土木計画学研究発表会講演集，CD-ROM
【図 書】 （著者名、出版社名、書名、刊行年）
【その他】 （知的財産権、ニュースリリース等）
「さんさんびと」南三陸町の人々から学ぶ
http://www.yomiuri.co.jp/adv/chuo/education/20131205.html
火防線刈払いプロジェクト
http://minamisanriku-now.blogspot.jp/2015/04/blog-post_24.html
中央大学の皆さんとやすらぎの森へ登りました！
http://www.mkanyo.jp/onsendayori/2013/12/post_1959.html
中大生が復興し年のエコツーリズム報告会 南三陸町
http://www.47news.jp/localnews/miyagi/2014/03/post_20140313003246.html